

生活経済圏域別の状況

事業所数、従業者数、年間商品販売額及び売場面積について、6生活経済圏域別の構成をみると、卸売業、小売業ともに、すべての項目で「松山圏」の占める割合が最も大きくなっています。また、「松山圏」の事業所数の構成比(卸売業：43.5%、小売業：35.9%)に対し、従業者数、年間商品販売額及び売場面積の構成比が高くなっています。

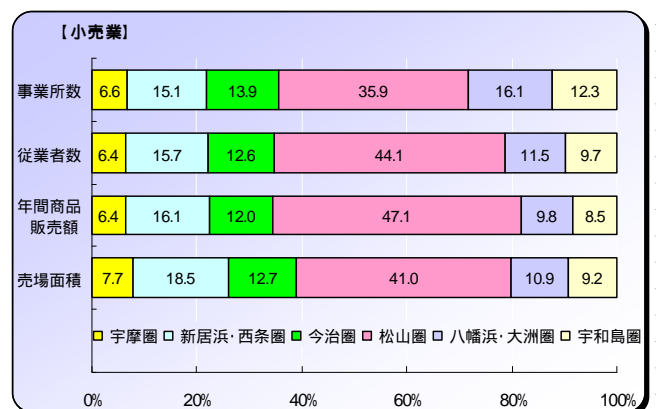
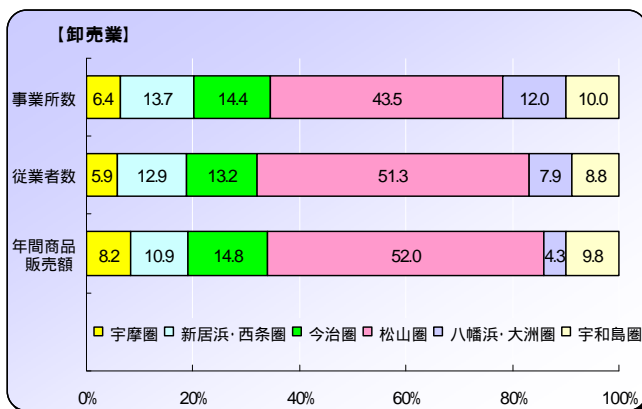
【図 13、表 11】

表11 圏域別(市町別)主要数値

(単位:事業所、人、万円、㎡)

市町名	事業所数			従業者数			年間商品販売額			売場面積
	合計	卸売業	小売業	合計	卸売業	小売業	合計	卸売業	小売業	小売業
県計	19,600	4,131	15,469	119,974	34,035	85,939	353,741,626	217,200,081	136,541,545	2,012,499
宇摩圏	1,291	266	1,025	7,501	1,996	5,505	26,437,980	17,728,926	8,709,054	155,080
四国中央市	1,291	266	1,025	7,501	1,996	5,505	26,437,980	17,728,926	8,709,054	155,080
新居浜・西条圏	2,909	568	2,341	17,880	4,386	13,494	45,716,961	23,679,510	22,037,451	371,999
新居浜市	1,538	338	1,200	10,310	2,864	7,446	29,459,290	16,966,739	12,492,551	191,296
西条市	1,371	230	1,141	7,570	1,522	6,048	16,257,671	6,712,771	9,544,900	180,703
今治圏	2,745	595	2,150	15,343	4,500	10,843	48,521,792	32,096,773	16,425,019	255,904
今治市	2,643	588	2,055	15,039	4,479	10,560	48,178,678	32,071,756	16,106,922	251,742
上島町	102	7	95	304	21	283	343,114	25,017	318,097	4,162
松山圏	7,355	1,795	5,560	55,372	17,454	37,918	177,303,636	112,933,319	64,370,317	825,561
松山市	5,784	1,535	4,249	46,436	15,078	31,358	150,293,879	95,379,565	54,914,314	649,691
伊予市	504	96	408	2,527	626	1,901	7,171,506	4,512,568	2,658,938	53,719
東温市	336	57	279	2,357	581	1,776	7,850,599	4,756,073	3,094,526	60,880
久万高原町	202	12	190	632	123	509	948,728	401,907	546,821	11,491
松前町	279	57	222	1,638	490	1,148	4,639,011	3,128,481	1,510,530	20,655
砥部町	250	38	212	1,782	556	1,226	6,399,913	4,754,725	1,645,188	29,125
八幡浜・大洲圏	2,978	494	2,484	12,553	2,690	9,863	22,777,120	9,368,171	13,408,949	218,908
八幡浜市	797	177	620	3,450	994	2,456	6,895,106	3,443,049	3,452,057	48,860
大洲市	901	159	742	4,310	892	3,418	8,564,960	3,454,180	5,110,780	88,767
西予市	717	103	614	2,929	455	2,474	5,086,468	1,706,048	3,380,420	55,659
内子町	345	37	308	1,282	249	1,033	1,540,674	433,944	1,106,730	18,197
伊方町	218	18	200	582	100	482	689,912	330,950	358,962	7,425
宇和島圏	2,322	413	1,909	11,325	3,009	8,316	32,984,137	21,393,382	11,590,755	185,047
宇和島市	1,636	337	1,299	8,382	2,642	5,740	28,549,472	20,079,647	8,469,825	130,645
松野町	71	6	65	231	20	211	216,909	19,751	197,158	5,809
鬼北町	183	14	169	852	65	787	1,163,910	101,406	1,062,504	17,286
愛南町	432	56	376	1,860	282	1,578	3,053,846	1,192,578	1,861,268	31,307

図13 圏域別の事業所数、従業者数、年間商品販売額



1 事業所数

卸売業

卸売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が1,795事業所(構成比43.5%)と群を抜いて高く、次いで「今治圏」が595事業所(同14.4%)、「新居浜・西条圏」が568事業所(同13.7%)と続いています。【図14-1、表12】

前回調査と比べると、「松山圏」(前回比13.0%)、「宇和島圏」(同11.0%)の2圏域で県平均(同10.2%)の減少幅を上回ったのをはじめ、すべての圏域で減少となりました。

【図14-2、表12】

小売業

小売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が5,560事業所(構成比35.9%)と群を抜いて高く、次いで「八幡浜・大洲圏」が2,484事業所(同16.1%)、「新居浜・西条圏」が2,341事業所(同15.1%)と続いています。【図14-1、表12】

前回調査と比べると、「今治圏」(前回比13.1%)、「宇摩圏」(同12.1%)、「新居浜・西条圏」(同11.7%)、「松山圏」(同11.5%)の4圏域で県平均(同11.2%)の減少幅を上回ったのをはじめ、すべての圏域で減少となりました。【図14-2、表12】

図14-1 圏域別の事業所数

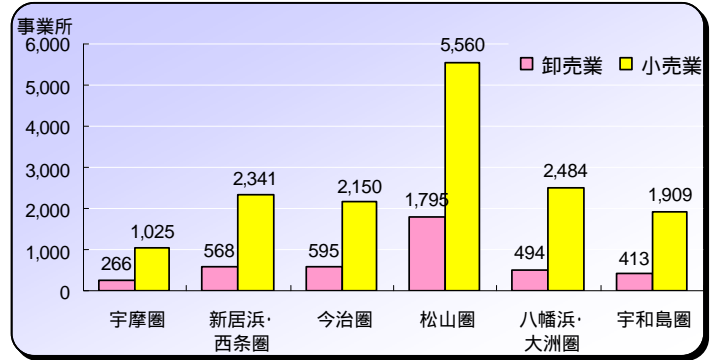


図14-2 圏域別事業所数の増減

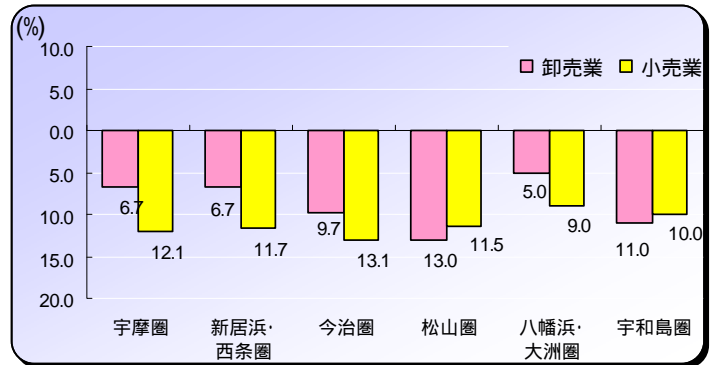


表12 圏域別、卸売・小売業別の事業所数

圏域	事業所数								
	合計	構成比(%)	前回比(%)	卸売業	構成比(%)	前回比(%)	小売業	構成比(%)	前回比(%)
県計	19,600	100.0	11.0	4,131	100.0	10.2	15,469	100.0	11.2
宇摩圏	1,291	6.6	11.0	266	6.4	6.7	1,025	6.6	12.1
新居浜・西条圏	2,909	14.8	10.8	568	13.7	6.7	2,341	15.1	11.7
今治圏	2,745	14.0	12.4	595	14.4	9.7	2,150	13.9	13.1
松山圏	7,355	37.5	11.9	1,795	43.5	13.0	5,560	35.9	11.5
八幡浜・大洲圏	2,978	15.2	8.4	494	12.0	5.0	2,484	16.1	9.0
宇和島圏	2,322	11.8	10.2	413	10.0	11.0	1,909	12.3	10.0

注) 前回比について、旧小田町は「八幡浜・大洲圏域」に含めたうえで算出している。

2 従業者数

卸売業

卸売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が 17,454 人(構成比 51.3%)と群を抜いて高く、次いで「今治圏」が 4,500 人(同 13.2%)、「新居浜・西条圏」が 4,386 人(同 12.9%)と続いています。

【図 15-1、表 13】

前回調査と比べると、「松山圏」(前回比 12.4%)の 1 圏域で県平均(同 9.1%)の減少幅を上回ったのをはじめ、すべての圏域で減少となりました。

【図 15-2、表 13】

小売業

小売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が 37,918 人(構成比 44.1%)と群を抜いて高く、次いで「新居浜・西条圏」が 13,494 人(同 15.7%)、「今治圏」が 10,843 人(同 12.6%)と続いています。

【図 15-1、表 13】

前回調査と比べると、「宇和島圏」(前回比 8.8%)、「松山圏」(同 7.0%)の 2 圏域で県平均(同 5.8%)の減少幅を上回ったのをはじめ、すべての圏域で減少となりました。【図 15-2、表 13】

図 15-1 圏域別の従業者数

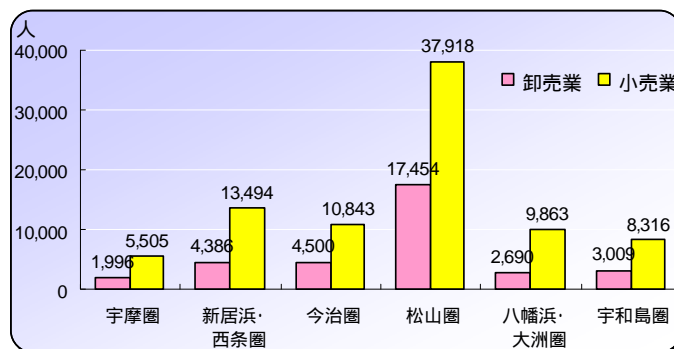


図 15-2 圏域別従業者数の増減

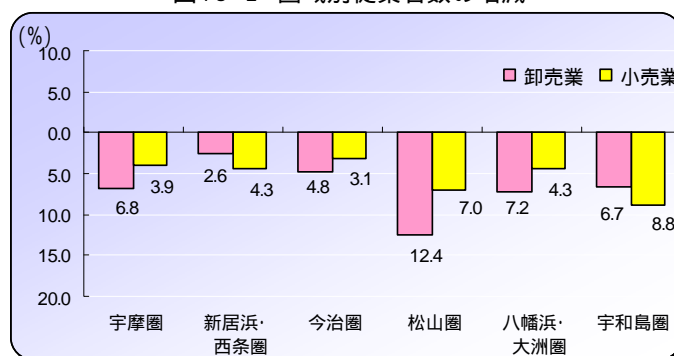


表 13 圏域別、卸売・小売業別の従業者数

圏域	従業者数(人)								
	合計	構成比(%)	前回比(%)	卸売業	構成比(%)	前回比(%)	小売業	構成比(%)	前回比(%)
県計	119,974	100.0	6.7	34,035	100.0	9.1	85,939	100.0	5.8
宇摩圏	7,501	6.3	4.7	1,996	5.9	6.8	5,505	6.4	3.9
新居浜・西条圏	17,880	14.9	3.9	4,386	12.9	2.6	13,494	15.7	4.3
今治圏	15,343	12.8	3.6	4,500	13.2	4.8	10,843	12.6	3.1
松山圏	55,372	46.2	8.8	17,454	51.3	12.4	37,918	44.1	7.0
八幡浜・大洲圏	12,553	10.5	5.0	2,690	7.9	7.2	9,863	11.5	4.3
宇和島圏	11,325	9.4	8.2	3,009	8.8	6.7	8,316	9.7	8.8

注) 前回比について、旧小田町は「八幡浜・大洲圏」に含めたうえで算出している。

3 年間商品販売額

卸 売 業

卸売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が1兆1,293億円(構成比52.0%)と群を抜いて高く、次いで「今治圏」が3,210億円(同14.8%)、「新居浜・西条圏」が2,368億円(同10.9%)と続いています。【図16-1、表14】

前回調査と比べると、「今治圏」(前回比16.8%)の1圏域で増加となりましたが、「宇摩圏」(同35.2%)、「八幡浜・大洲圏」(同16.8%)、「宇和島圏」(同10.3%)の3圏域で県平均(同8.4%)の減少幅を上回ったのをはじめ、そのほかの2圏域で減少となりました。

【図16-2、表14】

小 売 業

小売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が6,437億円(構成比47.1%)と群を抜いて高く、次いで「新居浜・西条圏」が2,204億円(同16.1%)、「今治圏」が1,643億円(同12.0%)と続いています。【図16-1、表14】

前回調査と比べると、「新居浜・西条圏」(前回比0.2%)の1圏域で増加となりましたが、「八幡浜・大洲圏」(同7.0%)、「宇和島圏」(同6.7%)、「松山圏」(同5.9%)の3圏域で県平均(同4.6%)の減少幅を上回ったのをはじめ、そのほかの2圏域で減少となりました。【図16-2、表14】

図16-1 圏域別の年間商品販売額

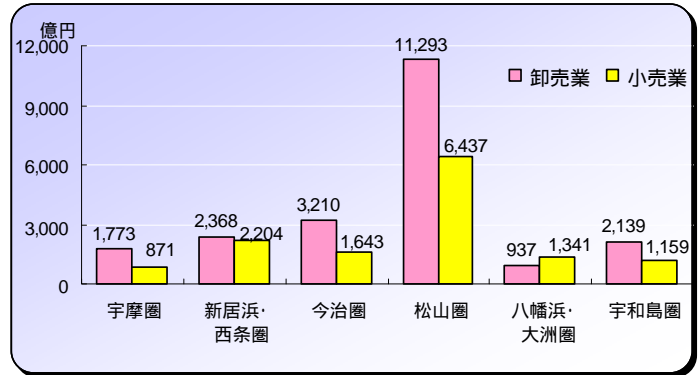


図16-2 圏域別年間商品販売額の増減

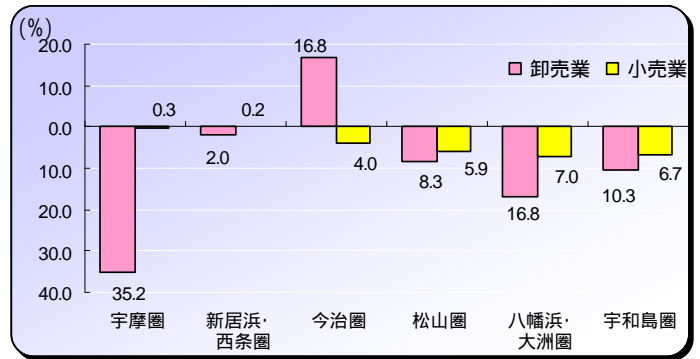


表14 圏域別、卸売・小売業別の年間商品販売額

圏域	年間商品販売額(万円)								
	合計	構成比(%)	前回比(%)	卸売業	構成比(%)	前回比(%)	小売業	構成比(%)	前回比(%)
県計	353,741,626	100.0	7.0	217,200,081	100.0	8.4	136,541,545	100.0	4.6
宇摩圏	26,437,980	7.5	26.7	17,728,926	8.2	35.2	8,709,054	6.4	0.3
新居浜・西条圏	45,716,961	12.9	0.9	23,679,510	10.9	2.0	22,037,451	16.1	0.2
今治圏	48,521,792	13.7	8.8	32,096,773	14.8	16.8	16,425,019	12.0	4.0
松山圏	177,303,636	50.1	7.5	112,933,319	52.0	8.3	64,370,317	47.1	5.9
八幡浜・大洲圏	22,777,120	6.4	11.3	9,368,171	4.3	16.8	13,408,949	9.8	7.0
宇和島圏	32,984,137	9.3	9.1	21,393,382	9.8	10.3	11,590,755	8.5	6.7

注) 前回比について、旧小田町は「八幡浜・大洲圏域」に含めたいうで算出している。

4 売場面積（小売業）

小 売 業

小売業の圏域別の構成をみると、「松山圏」が82万5,561㎡（構成比41.0%）と群を抜いて高く、次いで「新居浜・西条圏」が37万1,999㎡（同18.5%）、「今治圏」が25万5,904㎡（同12.7%）と続いています。

【図17-1、表15】

前回調査と比べると、「宇摩圏」（前回比6.5%）、「宇和島圏」（同6.5%）、「新居浜・西条圏」（同5.5%）の3圏域で県平均（同4.1%）の増加幅を上回ったのをはじめ、すべての圏域で増加となりました。

【図17-2、表15】

表15 圏域別 卸売・小売業別の売場面積

圏 域	売場面積(㎡)		
	(小売業)	構成比(%)	前回比(%)
県 計	2,012,499	100.0	4.1
宇 摩 圏	155,080	7.7	6.5
新居浜・西条圏	371,999	18.5	5.5
今 治 圏	255,904	12.7	3.8
松 山 圏	825,561	41.0	3.1
八幡浜・大洲圏	218,908	10.9	2.3
宇 和 島 圏	185,047	9.2	6.5

注) 前回比について、旧小田町は「八幡浜・大洲圏域」に含めたうえで算出している。

図17-1 圏域別の売場面積(小売業)

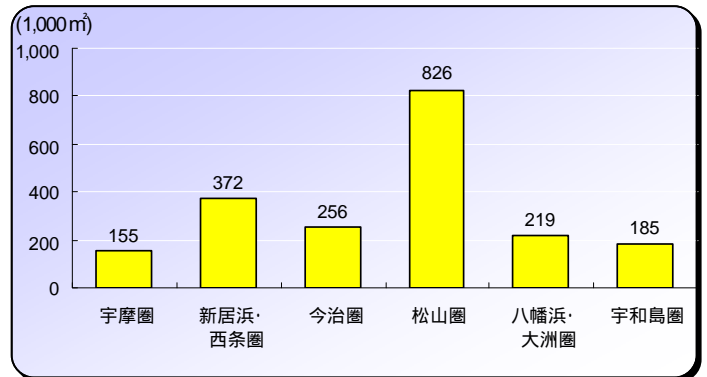
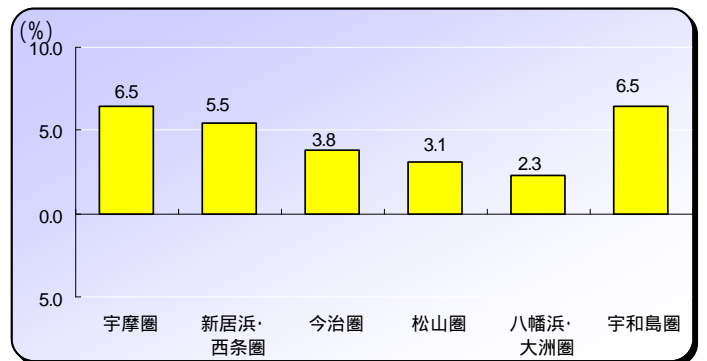


図17-2 圏域別 売場面積の増減(小売業)



5 圏域(市町)別の地元購買率(小売業)

地域別(圏域・市町別)の地元購買率をみると、当率が100%を超えている圏域は「松山圏」(購買率105.0%)と「宇摩圏」(同100.9%)の2圏域のみとなっており、市町別では「松山市」(同113.5%)、「大洲市」(同109.6%)、「新居浜市」(同107.8%)、「宇和島市」(同103.3%)、「四国中央市」(同100.9%)、「今治市」(同100.0%)の6市のみとなっています。このことから、地元購買率の低い地域から高い地域に消費者が流入していることが推測されます。【表16】

表16 圏域(市町別)の地元購買率

圏域(市町)	平成19年6月1日 現在の 推計人口(人)	小売業の 年間商品販売額 (万円)	1人当たりの 年間商品販売額 (万円)	地元購買率 (%)
県 計	1,453,680	136,541,545	93.9	-
宇 摩 圏	91,910	8,709,054	94.8	100.9
四国中央市	91,910	8,709,054	94.8	100.9
新居浜・西条圏	235,985	22,037,451	93.4	99.4
新居浜市	123,344	12,492,551	101.3	107.8
西条市	112,641	9,544,900	84.7	90.2
今 治 圏	179,368	16,425,019	91.6	97.5
今治市	171,509	16,106,922	93.9	100.0
上島町	7,859	318,097	40.5	43.1
松 山 圏	652,884	64,370,317	98.6	105.0
松山市	514,988	54,914,314	106.6	113.5
伊予市	39,014	2,658,938	68.2	72.6
東温市	35,487	3,094,526	87.2	92.8
久万高原町	10,442	546,821	52.4	55.8
松前町	30,620	1,510,530	49.3	52.5
砥部町	22,333	1,645,188	73.7	78.4
八幡浜・大洲圏	164,041	13,408,949	81.7	87.0
八幡浜市	40,217	3,452,057	85.8	91.4
大洲市	49,667	5,110,780	102.9	109.6
西予市	43,688	3,380,420	77.4	82.4
内子町	18,972	1,106,730	58.3	62.1
伊方町	11,497	358,962	31.2	33.2
宇和島圏	129,492	11,590,755	89.5	95.3
宇和島市	87,323	8,469,825	97.0	103.3
松野町	4,524	197,158	43.6	46.4
鬼北町	12,202	1,062,504	87.1	92.7
愛南町	25,443	1,861,268	73.2	77.9

注1) 推計人口は、平成17年国勢調査における愛媛県人口・世帯数を基に、その後の住民基本台帳の出生、死亡、転入、転出の移動を増減して算出している。

注2) 地元購買率 =
$$\frac{\text{当該地域の住民1人当たりの小売業年間商品販売額}}{\text{県民1人当たりの小売業年間商品販売額}}$$